

# 主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19125	放課後子ども教室推進事業	室名	生涯学習室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	会計	01:一般会計
	基本施策	02:子育て支援	款	10:教育費
	施策の方向	02:すべての子育てを支援するしくみづくり	科目	05:社会教育費
戦略プロジェクト	04:子ども輝きプロジェクト	目	01:社会教育総務費	
事業予定期間	H 19 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等	放課後子どもプラン(文部科学省と厚生労働省の放課後対策事業の連携)	

② 目的・概要	対象	小学生
	目的	子ども達と地域の大人の信頼関係を築き、子ども達が「地域の中において安心である」と感じる環境をつくることで、子どもたちの居場所(拠り所)をつくる。地域の中に信頼できる人がいることで子ども達が孤独(ひとり)でいることがなくなり、地域に愛されていることを実感できる。 子ども達が地域社会の中で健やかに育まれる環境づくりのために、放課後子ども教室の実施を行っていく。
概要	文部科学省の「放課後子どもプラン・放課後子ども教室推進事業」を活用し、「放課後子ども教室」の実践を通して、地域住民との交流活動等の取り組みを実施する。	

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	計画額	放課後子ども教室推進事業(11校) (開催日数見込、参加人数見込) 全小学校区 (1,680日、25,500人)	放課後子ども教室推進事業(11校) (開催日数見込、参加人数見込) 全小学校区 (1,710日、25,500人)	
		(学校別) 亀山西(140日、1,400人)、亀山南(160日、1,600人) 亀山東(180日、1,800人)、昼生(160日、1,600人) 川崎(180日、6,000人)、野登(180日、5,000人) 神辺(180日、1,800人) 関(130日、2,600人) 加太(160日、1,600人)、井田川(150日、1,500人) 白川(60日、600人)	(学校別) 亀山西(140日、1,400人)、亀山南(160日、1,600人) 亀山東(180日、1,800人)、昼生(160日、1,600人) 川崎(180日、6,000人)、野登(180日、5,000人) 神辺(180日、1,800人)、関(130日、2,600人) 加太(160日、1,600人)、井田川(180日、1,500人) 白川(60日、600人)	
	予算額	事業費	17,200千円	17,200千円
		国庫支出金		
	計画額	事業費	16,146千円	15,437千円
		国庫支出金	11,364千円	9,967千円
	予算額	事業費	4,782千円	5,470千円
		国庫支出金		
	期間内総事業費(H27・H28)①		34,400千円	期間外事業費(H29以降)② -
			総事業費 (①+②) -	

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)	
④ 指標	① 補足	名称 放課後子ども教室参加者児童数 年間放課後子ども教室に参加した児童の延べ人数	計画値 25,500 単位 人	計画値 25,500 単位 人	計画値 26,000 単位 人
		名称 放課後子ども教室参画者数 年間放課後子ども教室にボランティア等で参画した地域の方々の延べ人数	計画値 8,000 単位 人	計画値 9,000 単位 人	計画値 10,000 単位 人
	③ 補足	名称 放課後子ども教室学力向上取組実践校区数 年間「学力向上推進計画」に関連して放課後子ども教室における学習支援を実践した実施校区数	計画値 4 単位 校区	計画値 8 単位 校区	計画値 11 単位 校区
		④ 補足	計画値 単位		

事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19125	放課後子ども教室推進事業	室名	生涯学習室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 01:一般会計
	基本施策	02:子育て支援	務	款 10:教育費
施策の方向	02:すべての子育てを支援するしくみづくり	科	項 05:社会教育費	
	戦略プロジェクト	04:子ども輝きプロジェクト	目	目 01:社会教育総務費

② 目的・概要	対象	小学生
	目的	子ども達と地域の大人の信頼関係を築き、子ども達が「地域の中にいて安心である」と感じる環境をつくることで、子どもたちの居場所(拠り所)をつくる。地域の中に信頼できる人がいることで子ども達が孤独(ひとり)でいることがなくなり、地域に愛されていることを実感できる。子ども達が地域社会の中で健やかに育まれる環境づくりのために、放課後子ども教室の実施を行っていく。
概要	文部科学省の「放課後子どもプラン・放課後子ども教室推進事業」を活用し、「放課後子ども教室」の実践を通して、地域住民との交流活動等の取り組みを実施する。	

		27年度	28年度
①	名称	放課後子ども教室参加者児童数	計画値 25500
	補足	年間で放課後子ども教室に参加した児童の延べ人数	実績値 25347
			単位 人
②	名称	放課後子ども教室参画者数	計画値 8000
	補足	年間で放課後子ども教室にボランティア等で参画した地域の方々の延べ人数	実績値 9000
			単位 人
③	名称	放課後子ども教室学力向上取組実践校区数	計画値 4
	補足	年間で「学力向上推進計画」に関連して放課後子ども教室における学習支援を実践した実施校区数	実績値 8
			単位 校区
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績					
放課後子ども教室推進事業(11校) (開催日数見込、参加人数見込) 全小学校区 (1,710日、25,500人)				放課後子ども教室推進事業(10校)開催回数 1,472日 参加人数23,508人 学校区別 亀山西 118回 1,533人 亀山南 125回 1,088人 亀山東 179回 1,520人 昼生 37回 347人 川崎 183回 5,616人 野登 180回 3,563人 神辺 181回 1,934人 関 160回 5,106人 井田川 246回 1,921人 白川 63回 880人					
(学校別) 亀山西(140日、1,400人)、亀山南(160日、1,600人) 亀山東(180日、1,800人)、昼生(160日、1,600人) 川崎(180日、6,000人)、野登(180日、5,000人) 神辺(180日、1,800人)、関(130日、2,600人) 加太(160日、1,600人)、井田川(180日、1,500人) 白川(60日、600人)									
④ 事業の計画・実績	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	4,394		
		事業費	17,200	15,437		13,182	一般職員人件費 ②	4,394	平均給与額×③
		国庫支出金		0			所要人員 ③	0.60	
		県支出金	11,500	9,967		8,778	臨時職員人件費 ④	0	
		地方債		0			⑤		
		その他		0			受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源	5,700	5,470		4,404			
再掲	翌年度への繰越額								
	前年度からの繰越額		0						
	総人件費		①	4,394					
	総コスト		⑥	17,576					

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	地域の各方々の参画により学校やその隣接地で放課後子ども教室が展開される状況が定着し、地域における子どもたちの体験活動の場の創出と地域全体での子育てに参画する意識醸成が進んだ。また、亀山西、昼生小学校区が次年度より委託による実施となり、地域の参画による体験を軸とした「子どもの居場所づくり」に向けた長期的な運営実施に向けた意思形成が進んだ。	総合判定 <b>A</b> 順調に進んだ
	【反省点・課題】	全11小学校区のうち、加太小学校区はコーディネーターの不在から、放課後子ども教室の形での子どもの体験学習展開が出来なかった。このことは持続的展開の難しさを表しており、より強固な運営体制の構築が必要である。ただし、平成29年度は再度実施される事となっている。また、地域における日常的な子どもの居場所づくりについては、放課後子どもプラン運営委員会等での意見交換を踏まえ、福祉部局との調整の結果、夏休みに特化した放課後児童クラブの形で開催することとなったが、引き続き連携を図る必要がある。	
	【改善の方向性】	持続的な運営形態の確立に向けて、平成30年度からの全小学校区での委託実施開始に向けた協議を進めるとともに、委託における事務の簡素化に向けて県などとの調整を行う。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 生涯学習室長 亀山 隆